

## 一般質問



# 行財政運営と重点支援 地方交付金の活用



湖南維新の会 ● 澤田 厚 議員

**湖南市の財政リスクについて**

**問** 市として、現行のすべての行政サービスは将来にわたり維持することは難しくなる認識を持っているか。

**答** すべてのサービスを将来にわたり維持し続けることは難しいと考えております。

**問** 維持が難しくなるサービスでのサービスをどのような形に再設計していくのか。

**答** 新庁舎の建て替えについても公共施設の集約化といったサービスの転換のひとつとして取り組んでいるところとあります。

**本市DX推進計画の現状について**

**問** AIやRPAといった自動化技術実証・検証しているのか。

**答** 生成系AI技術が急速に進展していることを踏まえ、行政事務

においてもその活用を検討し、さらなる事務の効率化と行政サービスの向上に取り組んでまいります。

**重点支援地方交付金の活用について**

**重点支援地方交付金の拡充 (2.0兆円)**

- ✓ 1世帯あたり 平均10,000円程度の支援\*2
- ✓ 加えて食品価格高騰を踏まえ、1人3,000円(4人家族12,000円)相当を別枠で特別加算分として措置

\*2 交付金のうち家計支援枠の1世帯あたり平均額  
\*3 その他、灯油支援等、実際の支援内容は、自治体ごとに決定

首相官邸ホームページより引用

**問** 湖南市版「地域経済循環モデル」の提案についての見解は。

**答** 「有効な手段」と考えられますので、本市としまして、今後の経済対策におきましては、全国の先例事例も参考にし、本市の特性に見合った施策の構築に向け、調査・研究を進めてまいります。



# ごみ出し支援・ いごこちのよい図書館



湖南市公明党議員団 ● 副田 悦子 議員

**ごみ出し支援について 対象者の把握は。**

**答** 地域包括支援センターによる地域ケア会議を始め、支えあい推進員やまちづくり協議会の会議などに職員が参加し、地域の状況を把握していきます。あわせて、高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に向けたニーズ調査からも把握に努めます。

**問** 全市的にどのような取り組みで行くのか。

**答** 現在実施されている地域を始め、地域の声をどのように反映していくかが肝要ととらえます。現在の地域の支えあい活動の広がりを他地域にも推進して行きたいと考えます。

**問** ごみ袋のサイズダウンの工夫について

**答** 指定ごみ袋の料金改定等にあわせ、大きさにについて、甲賀市や甲賀広域行政組合衛生

センターと調査・研究していきます。

**いごこちのよい図書館について**

**問** 「秋の図書館まつり」を終えて

**答** 開催期間中は、貸出人数や参加者数が昨年度より増加していることから一定の成果があったと考えています。今後も広報を充実させ、新たなイベントを企画し、地域行事と連携できることがないかなど工夫していきます。

**問** 自習スペースの飲食について

**答** 原則飲食はお断りしていますが、リニールに向けて要望を多くいただいていることから見直しの検討をしているところとあります。

**保育ICTシステム**

**問** システム導入により保護者負担は発生するのか。

**答** しません。